

かにえ国際交流友の会ニュース

Kanie International Friendship Association News

「こんにちは」から始まる国際交流 No.1



会長 棚橋 美知子

一年をふり返って

また春が巡ってきた。会長という大役をお引き受けして1年、感想はと聞かれたら、即、「楽しくやらせていただきました。」と、お答えしたい。

総会を含め6回のイベント、その他講演会、衣類交換会などの諸行事に一般会員、特別会員(外国人)、



企業会員、賛助会員の惜しみない御協力により、それぞれすばらしい成果を得たと自負している。「大変ですなあ。」と気の毒そうに声をかけて下さる方もあったが、大変というよりも、楽しかったという気持ちの方が強い。ひとりの力は小さいけれど…のたとえ通り、10ヶ国近い人間が集うと、何か互いにエネルギーを引き出し合うのか、毎回予想以上の盛り上りを見せてくれた。町民祭のツルネン氏の講演、屋外ステージでの熱演は心に焼きついて離れない。裏

話になるが、陽気でジョーク好きのフィリピン人もバンブーダンスの練習には、ひとつのミスも許さうとしない真剣な態度がとても印象深かったし、ベルー女性は舞台衣装の色、デザインに一步も妥協しなかった。彼らの表情は自分の国の文化を見せるのだという意気込みと誇りを、又、その裏に、祖国への熱き想いをうかがわせた。

この一年間は、総じて楽しい活動が多かったが、不況という厳しい状況下、蟹江を離れていく外国人が跡を絶たない。彼らの幸せを祈ると同時に、彼らが投げかけている問題も考えていかなければと思う。

最後に、一年間支え続けて下さった役員の皆様、会員の皆様に心より感謝申し上げます。



発会式総会

平成5年度から広く会員を募り、大きく発展しようという当会の初めての集いが、昨年4月18日に開かれ、何かお役に立てればと参加させていただいた私はまずその明るさと、前向きの雰囲気にかきかされました。

パーティでの自己紹介では、外国の人達が自国の言葉や、流暢な日本語で挨拶され、次第にうち解け合い、話に花が咲きました。盛り上がった頃、美しいタイの娘さん達が、民族衣装でタイ舞踊を披露してくださり、見とれていました。

バーベキュー大会



ちゃんこ鍋大会

6月下旬龍照院にて若松部屋の力士達と「ちゃんこ鍋」を囲む集いが、好日和の下で催されました。

最初に見学させていただいた稽古場では、気合いの入った練習が行われていました。若松親方が、力士達に激を飛ばしているのを見て、私達も一種の緊張感が漂ってきました。その後、境内でおいしく出来上がった「ちゃんこ鍋」を参加された各国の方々、力士及び会員達と共にいただきました。あまりくどくなく、あっさりとした味で、お代わり、がでる程の盛況振

—4月18日—

みんなも踊ろうという事になり、たちまち会場一杯の大きな輪が出来ました。

国際交流というと何か難しい事を考えてしまいがちですが、このような場面を想像していただければいいのではと思います。

このパーティの終わった時にはみんな旧知のように笑顔で、会場の後片付けを終えてしまいました。またあいましようと口々に言いあった時には、ささやかな輪が広がった実感があり、思いきって参加した事をうれしく思いました。

—5月23日—

初夏の日射しが鈴鹿山系の緑を色濃く変える平成5年5月末の日曜日、発足して間もない国際交流友の会主催による屋外バーベキュー大会に参加した。

日曜日には爆睡する身に早起きは辛く、野外活動センター行きの車に乗り込みぐったりしながら薄目をあけて車窓から遠くを見やると、みるみる景色が一変する。植物相までが変わったころ自然派の僕は目覚めた。ここまで来るだけで素晴らしいフレッシュだ。そのうえ外国の人たちといっしょに肉

谷中 ひさ子さん



佐藤 正浩さん

喰ってビールが飲めるなんて。英語も試すぞ！と思いきや英語圏の人がほとんど来ていないノタイの人たちに、神格化されているプミポン国王のことさえ通じず、早々と国際交流を断念、グランドで野球三昧だ。打てない守れないで散々だった。

初の試みとはいえ、てきばきと進行していたと思う。さわやかな陽光の下、異国の人と飲むビールはうまかった。機会あらばまた誘ってください。皆様本当にお疲れ様、ありがとうございました。

若松部屋力士とちゃんこ鍋を囲んで

—6月27日— 七条 靖子さん

りでした。

食事後、親方と外国の方々と一緒に写真を撮ったり、力士達と「スイカ割り」をしました。特に外国の女性が出てくると、ヤンヤの喝采でお国言葉でそれぞれ応援している様子は、本当にほほえましいものでした。いびつに割れたスイカをおいしそうに食べていたのも印象的でした。若松部屋からも土俵を沸かせる人気力士が出るようにと願いをこめて、各国の方々からの花束贈呈で楽しい交流会は終わりました。



夏の町民まつり 盆踊り —8月13日—

早瀬けい子さん

小さい頃から盆踊りが大好きだったので、外国人を招いての盆踊り大会を、とても楽しみにしておりました。夏の夜の開放的な雰囲気の中で、踊りの輪は幾重にもなりました。おしなべて外国の方は日本人より、リズム感がよいのでしょうか、からだ全体で楽しそうに踊っておられました。大勢の蟹江町民の中に混じって外国の方が踊っておられるのをみると、国際化の波も随分身近な所にまで来たものだと、隔世の感がします。言

葉を越えて身ぶり、手ぶりでお互いコミュニケーションがはかれるものですね。フィリピンの方々によるバンブーダンスが、雨のため中止になったことが唯一残念です。

盆踊りのような夏の風物詩から、外国の方に日本の文化の一端をみていただき、少しでも日本を知ってもらえたのではないかと思います。今後は、花見とか、紅葉狩りなど、四季をめぐる行事を企画していただき、外国の方と共に日本を再発見できたらと思います。



秋の町民まつり 国際交流ふれあいフェスティバル —10月23日— 武藤 由美さん



外国人から見た日本人観が主な内容かなと勝手に思い込んで参加したのですが、「私は日本人です。」と毅然として言われるツルネンマルティさんは、「我々日本人が外国人と生きるにはどうしたらよいか」というテーマで講演されたのです。外国人とどんな姿勢でつき合うのか、具体的にどうしたらいいのか。元外国人からのアドバイスです。

- 外国人にあいきつをしよう
- 日本語を教えてあげよう
- 私たちの方から仲間に受け入れ

よう

- ホームステイを受け入れよう
- 外国人を差別しない

ところで、日本人は、外国人からどう見られているかを気にし、良く思ってもらいたいと思うのには、理解してもらうための努力はあまりしないとされます。

具体的な行動となると苦手な人が多いのも確かです。

国際交流友の会のイベントは外国人との相互理解のための良い機会です。出来るかぎり参加していきたいと思っています。

クリスマス会

12月19日冬のすみきった青空の下、おもちつきの音が中央公民館の広場に景気よく拡がる。

蟹江町在住の外国のお友達、ブラジル・ペルー・タイ・フィリピン・中国・アメリカの人達といっしょに、クリスマスフェスティバルの始まりである。ついたお餅をあんもち、きなこもち、大根おろしの餅に仕上げ、友の会の人達の手作りのおすし・クッキー・やきそば・ケーキなどいっしょに並べられ、にぎやかなランチであつ

—12月19日—

た。

昼食後ペルーの若人達のインカの音楽が始まり、ギターに合わせてのダンス、老いも若きもいりまじってのダンス、もろもろのゲームに大にぎわい。最後に福引やら、クリスマスプレゼントの交換など楽しいクリスマス会であった。

多忙の間に友の会の人達がいろいろ用意してくださって、皆さんと楽しいひとときを持てたことに感謝の言葉あるのみです。

山本美代子さん



講演会

中国における都市事情
(譚縦波氏)

—7月30日—

谷口 信一さん

今回の講演会は、私にとってとても興味深いものでした。中国は今でこそ近い国ですが、少し前までは政策の違いから大変遠い国でした。それもあって私にとっては、あまり魅力のない国の一つでした。その中国の様子が、都市事情という観点から伺えたことは、とてもいい経験になったと思っています。

幸いにも「かにえ国際交流友の会」では、中国から来てみえる方とお会いする機会があり、これからも色々なことを聞いてみたいと思っています。漢字を使う国どうしの文化の違いを知ることは、非常に興味深いものになりそうです。

外国の皆さんからひとこと

ジョン 山本さん(アメリカ)

国際交流友の会が始まってから約1年がたった。この会の関係者の方にお礼を言いたいと思う。この会のおかげで様々な国の人が、互いに知り合うことができ、また他の文化について知りたいと思う人には非常に素晴らしい機会を与えてくれる。さらに普通では経験できないようなことも経験できる。たとえば去年の夏はすもう部屋を訪れた。若松部屋に行

き実際に力士と話し、そして本物のちゃんこ鍋を食べた。これらは私にとって本当に素晴らしい体験だった。日本はますます国際的になってきている。この会はいろいろな人、文化について学びたい人や新しい友達を作りたい人にとってとても素晴らしいものだと思う。

薬師寺 紀美代(ROSA)さん(ブラジル)

以前の私は、誰も知らなかったし、外国人をいやがる人がいるので毎日小さくなって道を歩いていたような気がします。以前も今も外国人である事だけでイジメられた経験があります。

でも、この友の会に参加するようになって気持ちが

だいぶ救われ、出身をきかれても隠さないようになりました。この会では外国人をきらう人はいなく、一人の人間として接してくれ自信を与えてくれました。おかげさまで、今では心にゆとりがあり、友達の輪も広くなりました。

譚 縦 波さん(中国)

私は去年一年間にかにえ国際交流友の会が主催したいろいろな有意義な催しに参加しました。例えば、日本文化の代表とも言える相撲部屋のけいこの見学や、クリスマスパーティなど楽しい行事もありましたし、一方では丸呈弦念さんの講演のような国際交流を真剣に取り組む行事もありました。私はこれら

の行事に参加したことで大変勉強になり、国際交流に対する認識も深めたと思います。と同時に、これからは日本の方々とともに国際交流を一層進める必要性を深く感じました。

今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げるとともに、会のご発展を心からお祈り申し上げます。

「あとがき」 厳寒の冬からやっと逃れることができ、待ちに待った春が訪れてまいりました。昔の人は、上手に言ったものだと思います。「暑さ寒さも彼岸まで」とで……

あたりは、色々な花が夫々にほころび始めました。ちょうど、このかにえ国際交流友の会がスタートしたのが、1年前のことでありました。よちよち歩きではありましたが、色々なイベントを通して、町内在任の外国人の人々と町民とが一体となって参加できたことは、ほほえましく、たのもしささえも感じました。

こうした行事の生の声を集録したものが、この機関紙ではないでしょうか。私たちは、あくまでもボランティア活動ではありますが、町民の皆様の一層のご支援を頂くよう念じております。原稿をお寄せ下さいました皆さまに厚く御礼申し上げます。

編集委員

山田 記

かにえ国際交流友の会

事務局 蟹江町役場 企画課

〒497 愛知県海部郡蟹江町大字西之森字長三郎2

TEL (05679) 5-1111 FAX 5-9188

編集委員

棚橋美知子

山田 典和

谷口 信一

犬飼 薫

青木 紀子

小池真智子

平成6年度

総会ご案内

時：平成6年4月17日(日)午前11時00分

所：蟹江中央公民館分館